

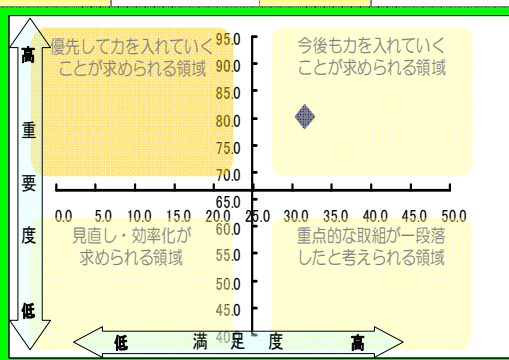
施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課 下水道施設管理課

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	上下水道サービスの質を高める	取組の 基本方向	「上下水道サービスの質を高める」ため、水道水の品質を高め、安定的な給水を確保するための「水道水の安心給水の推進」、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための「下水の適正処理の推進」、環境負荷の低減を図るための「上下水道施設・資源による環境保全の推進」、顧客満足度の向上や経営基盤の強化を図るための「顧客重視経営の推進」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	水道水の高品質化や安定給水、生活排水の適正処理などにより、市民の上下水道サービスへの満足度が向上しています。
--------------	------------------	----------------	----------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	上下水道施設・資源による環境保全の推進				④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	②施策目標	上下水道の施設・資源が有効活用され、環境負荷が低減されています。				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----			
	③施策を 取巻く環境	国・県等の動向	環境保全意識が高まる中、国においては、2009年9月に、温室効果ガス排出量を1990年比6%削減とする京都議定書の目標を改め、25%削減とする目標を示し、さらに環境負荷の低減施策を進めている。				指標① (総合計画に基づく指標)	-----	2	8	14	14	14	52.9%	
		外部意見 その他	-----				指標②	-----	-----	-----	-----	-----	-----		
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足 度	31.6%	市民の 施策重要 度	80.2%	達成度 (単年度目標)	●	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	既存事業である「下水道資源有効活用」においては、リサイクル率100%を達成している。水道事業においても「環境負荷低減対策事業」に取り組み、計画どおり進捗しているところである。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点 改善の必要な点		
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	●	横ばい	減少している	説明	環境保全意識が大きく高まる中、社会的なニーズは一定値で推移している。					
			適切性 (適切な事務事業の 選択, 実施)	●	十分である	●	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	上下水道の施設・資源を有効活用し、環境負荷低減への適切な事業を選択し実施している。					
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である	●	やや不十分である	不十分である	説明	各事業の着実な推進が、基本施策目標の実現に大きく貢献している。					
													持続可能な循環型社会に貢献するため、下水道事業においては、既に下水汚泥の100%リサイクルを達成している。水道事業においても、中核市で初めて環境負荷低減技術を導入し、太陽光発電設備や小水力発電設備を設置している。		
													「環境にやさしい」は時代の主流であり、今後も施策指標として掲げた二酸化炭素排出量削減率(目標は京都議定書の倍以上)を達成するため、計画的に事業を進める必要がある。		

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	汚泥のスラグ化や太陽光・小水力などの多様な環境技術の導入が図られたので、消化ガスの有効活用をはじめ、新エネルギー・省エネルギー等に関する技術動向を踏まえながら、環境保全に結びつく新たな対策について調査・検討する。	➡	⑨政策評価 会議意見	・地球温暖化が進行している現在、環境への負荷を軽減し、また、市民の環境意識向上を図る上でも、上下水道局として環境保全事業に取り組むことは必要不可欠である。これまで、浄水場の太陽光発電や、送水管の小水力発電など、環境負荷の低減に取り組んできたが、今後も、主要な施設の更新に併せ、費用対効果を踏まえながら、環境にやさしい事業運営を推進するとともに、市民に対し、事業に対する関心を高めるPRの強化も努めていくこと。
	重点事業	上下水道施設や資源を活用した環境保全対策については、一定の整備が進められたことから、消化ガスなどの未利用資源をはじめ、他の環境保全技術の情報収集や導入可能性について検討を行う。			
	見直し事業	-----			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	下水道資源の有効活用事業 担当課 下水道施設管理課	下水汚泥	H14	資源化工場で溶融スラグ化した脱水汚泥(t)	28,341	26,534	155,282	275,740	A	継続	今後もより良い手法を検討しながら、下水汚泥のリサイクル率100%を維持し、環境負荷低減を推進していく。
					22,781	22,083					
2	下水道資源の有効活用事業 担当課 下水道施設管理課	下水汚泥	H19	民間事業者者に処理を委託した脱水汚泥(t)	765	731	35,466	130,119	A	継続	
					642	1,205					
3	環境負荷低減対策事業 担当課 水道建設課	水道施設	H19	太陽光発電及び小水力発電設備設置	0	1	0	1	A	継続	太陽光発電及び小水力設備については、平成21年度までに整備事業を完了させた。今後も事業に対しての効果を検証し、他施設への導入を検討していく。
					0	1					

様式 2

4	浄水汚泥の有効利用		浄水汚泥	H2O	セメント工場に処理を委託した浄水汚泥 (t)		1,510	1,600	14,584	13,528	A	継続	今後も浄水場で発生する浄水汚泥を県内のセメント工場へ処理を委託し、セメントの原料の一部として有効利用をしていく。
	担当課	配水管理センター			1,543	1,356							
施策事業費合計								205,332	419,387				